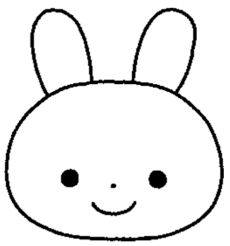


うさぎぐみだより

１２月

2020 年１２月１日　保土ケ谷保育園
うさぎ組担任

最近の子どもたちの様子

朝晩は冷え込みが厳しくなりましたが、日中は秋晴れの心地よい日が続き、周囲の公園へ多く出かけることができました。豊富な種類の木々の紅葉や木の実を探したり落ち葉を舞い上げたり、踏み鳴らして感触を楽しむなど思いきり秋を満喫しました。初めはただしっぽを付けて走ることが嬉しかった『しっぽとり』は、最近では友だち同士で“しっぽ”を狙って追ったり、取られまいと逃げたりと少しずつゲーム感覚がわかってきたようです。初冬に入り落葉がすすみ、また違った風景や冷たい空気など、子どもなりに季節の変化を感じながら、寒さに負けずに元気に遊んでいきたいと思います。

設置した自分専用のコップもマークを確認しながら取り出し、使用後は元の場所にきちんと戻していますよ。うがいでは時々衣服を濡らしてしまうかもしれませんが、感染症予防が習慣付くよう応援してくださいね。

自分でできるよ！自分でやりたい！

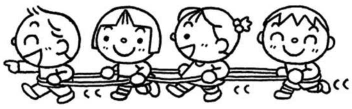
うがいのコップを設置してから導線が変わり、広いカーペットで、着替えるようになってから「自分で着たい。」「自分でたたみたい」という意欲のある子が多いことに気付きました。外遊びから帰って上着を脱いだ後も洗濯ばさみにはさんで自分でカゴに戻すようになっています。トイレでも平たい新品の紙パンツにつま先をにじにじと差し込み立ち上がり、「自分ではけた！」とにっこり笑顔で喜んでいます。おうちでも少し見守ってみると、そんな姿が見られるかと思います。今後も楽しい雰囲気の中で、一人一人ゆったりと関わりながら、「なんでも自分でやってみる！」という意欲と自信につなげていきたいと思います。

今月の活動

・寒さに負けずに戸外で保育者や友だちと体を思いきり動かして遊んでいきます。

・自分でできることをどんどん増やせるよう援助していきます。

・簡単な楽器を使って遊んでいきたいと思います。



ふくろうできた！ホ～ホ～(^o^)

いきもの図鑑絵本が大好きな子どもたち。ふくろうに興味を持つ姿も見られたので作ってみました。ふくろうのお腹は、指スタンプで羽のフワフワ感が出たかな？糊付けもすっかり上手になり、目やくちばしを貼りました。そして自分で拾った落ち葉を貼れば完成。同じようで、みんな違う味わいのある仕上がりになりました。

おねがい・おしらせ

・保育室は暖房が入るようになり、ヒートテックや厚手の下着は汗ばんでしまいますので、必要ないかと思います。また上着は気候に合わせて差し替えるよう調節をお願いします。

・靴下入れから靴下が出でしまうことがよくありますので、底などに大きめに記名していただくと大変助かります。

・12 月 7 日より個人面談が始まります。ご家庭と園の様子などをお伝えし合えたらと思います。短い時間ではありますが、よろしくお願いします。